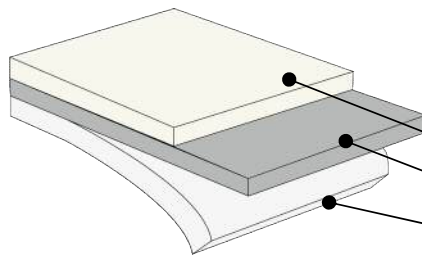


溶剤系IJメディア KD-7 ⑤AFGタック

(株)協同制作
東京都荒川区西日暮里1-62-21
TEL 03-3805-2501



白塩ビグロス 80 μ m(国内生産カレンダー製法)
アクリル系グレー糊(再剥離性有り) 25 μ m(国内生産)
剥離紙(マトリクス)

試験項目		測定結果		測定方法	
引張強度(N/10mm)	M D	34.9		試験片巾 10mm 引張速度300mm/min 23°C・50%RH	
	T D	30.2			
引張伸度(%)	M D	235			
	T D	260			
寸法変化(mm)	貼り付け状態	M D	0.41		試験片80mm角 CY200%出力 出力1時間後ラミネート 60°C95%RH×168時間 アルミ複合板
		T D	0.29		
粘着力 N/25mm	ステンレス	20分値	9.0		JIS Z0237(2000) 引張角度180度 引張速度300mm/min 23°C・50%RH
		24時間値	15.8		
	ガラス	20分値	10.6		
		24時間値	14.5		
	アクリル	20分値	10.1		
		24時間値	14.3		
	塩ビ	20分値	19.0		
		24時間値	20.5		
アルミ複合板	20分値	10.6			
	24時間値	16.0			
保持力 (mm/50000秒)		0.1		ステンレス(貼付面積25mm×25mm) 40°C、1Kg荷重	
ボールタック(No.)		9		J. DOW法	
耐候性 サンシャインW-O-M 1500時間		著しい変化なし		1500時間照射後、外観を観察する。	

【耐性試験後の再剥離性試験結果】

被着体	測定結果		測定方法
	耐熱試験 70度×7日	耐湿熱試験 60度・90%RH×7日	
ステンレス	△	△	試料サイズ 80×80mm 貼り付け1日後、試験開始 再剥離性判断基準 ◎・・・糊残り・汚染なし ○・・・汚染あり △・・・高速剥離時、糊残りあり ×・・・糊残りあり
ガラス	◎	◎	
アクリル	◎	◎	
塩ビ	△	△	
アルミ複合板	△	△	

*プラスチック類での再剥離性は、色や成型方法等の違いにより多少結果が異なることがあります。

※注意事項

- 本資料に記載の数値は、測定値の一例であり、保証値ではありません。
- 被着体表面の油・ホコリ・水などを拭き取ってから貼り付けてください。
- 貼り付けは出来るだけ10°C以上の気温下で十分に圧着してください。
- 保存場所は直接日光の当たる場所は避け、納入後は出来るだけ短期間でご使用願います。

以 上